

分子細胞生物学セミナー

ヒストンメチル化・脱メチル化による ほ乳類の発生・分化の制御

立花 誠 教授

徳島大学疾患酵素学研究センター

6月26日（金）10:30～12:00

北キャンパス シオノギ棟 1階 産学コミュニティーホール

私たちの体はたった1つの受精卵に由来します。ゲノムの一次配列は共通であるにもかかわらず、どうして多種多様な細胞種が存在するのか、これにはゲノムの管理・運営を司る“エピジェネティクス”による制御が深く関与しています。ヒストンのメチル化修飾は50年も前から研究されてきました。ヒストンのメチル化修飾は極めて安定であるため、積極的に消去されないであろう、と長い間考えられていました。ところが、近年様々な生物種で様々なヒストンの脱メチル化酵素が同定されたことから、当初考えられていたよりもダイナミックに変動していることが明らかになりつつあります。本セミナーでは、ヒストンのメチル化修飾の動的変動がどのような生体機能に関わっているのかについて、マウスをモデルとして紹介したいと思います。

連絡先 先端生命科学研究院 小布施 力史 /内線9015